いわて森林再生77

２０１８年１０月・１１月 号

おらたちは森林の環境を守り、未来の資源づくりにつとめます

NPO法人 いわて森林再生研究会
盛岡市上田堤　1-13-7
TEL・FAX019-663-0547
（携帯）090-7070-8724
ホームページ： http://i-sinrinsaisei.org/　　ブログ： http://iwatesinrinsaisei.sblo.jp

東和町のマーケットへ当会の木炭を出品します。反響はどうなるしょう？

雑木（広葉樹）林の ア・ラ・カルト

紅葉・黄葉で雑木林が目を引く季節です。
そこで広葉樹のあれこれを‥‥

＜雑木林の芳しくない現状＞

- 里山‥有用な、あるいは稀少価値のある木かも知れないのに、今、需要があるからといってバイオ燃料やチップ材として林を丸裸にして伐り出しています。
- 奥山（国有林）‥天然の木を伐り出す収奪型の経営を続けてきたため老熟した太い木は無くなり、次世代も育っていません。

＜雑木林が持っている本来の特性＞

- 木質‥スギに比べて密度が約２倍、堅くて重い。用材として用途は広いです。
- 更新‥ 伐り株から生えるひこばえ（萌芽枝）が成長する。何世代も萌芽を繰り返し苗木を植える必要がありません。
- 樹木の形‥樹冠が広く、花や実をつけます。多くの鳥獣の餌やねぐらを提供し、豊かな森林生態系をつくります。
- 根のはたらき‥太くて長い根は、土壌をグリップする力があって、山崩れ、土砂流失を防ぐ機能が高いです。
- 樹種‥岩手県の気候は冷温帯で比較的雪も少ないこともあって豊富です。
  殊に北上山地は全国的に樹種の多さで知られています。

雑木林は太く育てると経済的にも環境的にも大きな恵みをもたらしてくれます。これからの雑木林は、生えている木を、ただ伐り出すのではなく、大きく育てることではないでしょうか。

活動カレンダー　10/1～11/30

月　日	内　　容	詳細
10/3（水）	「里山の安全講習」 集合　ギダジ	4p
6（土）	間伐材の日‥製材 集合　ギダジ	2p
10（水）	里山・資源利用 集合　ギダジ	4p
13（土）	「講座」‥:現場研修 集合　ギダジ	3p
17（水） ～18（木）	里山・環境保全 集合 ギダジ	4p
21（日） ～22（月）	県民税・樋下林 集合現地　　詳細は記事参照	南
24（水）	間伐材の日‥炭焼き 集合　ギダジ	2p
27（土）	間伐材の日‥木工教室 集合　ギダジ	2p
28（日）	「講座」‥:現場研修 集合　ギダジ	3p
11/4（日）	間伐材の日‥木工教室 集合　ギダジ	2p
7（水）	「里山の安全講習」 集合　ギダジ	4p
10（土）	「講座」‥:現場研修 集合　ギダジ	3p
18（日） ～19（月）	県民税・樋下林 集合現地　　詳細は記事参照	南
21（水） ～22（木）	里山・環境保全 集合 ギダジ	4p
23（日）	☆そば祭り 詳細は記事参照	6p
25（日）	「講座」‥:現場研修 集合　ギダジ	3p

※　講師派遣のスケジュールは5pを見てください。
※　他団体の活動についてはそれぞれのページをみてください。

「間伐材の資源化プロジェクト」

「緑の募金事業」に採用されました。
「　**薪づくり** / **炭焼き** / **木工教室** / **きのこ栽培** です」
一般の方々も誘って積極的に参加ください。

平成30年度緑の募金事業
「緑の募金」は、森林の整備や次世代の人材育成を支援します。
緑の募金
国土緑化推進機構

＜ １０月のスケジュール＞

■　**間伐材の製材と木工教室**

と　き　１０月６日(土)　製材
　　１０月27日(土)　木工教室
集　合　ギダジ研修場　9:00～15:00
内　容　用材づくりと木工教室

■　**炭焼き（第二回）ナラ・アカシア材**

と　き　１０月２４日(水)（～１週間）
　　9:00～15:00
集　合　ギダジ研修場
内　容　窯出し炭切り・窯詰と火入れ

＜ １１月のスケジュール＞

■　**間伐材の木工教室**

と　き　１１月４日(日)　9:00～15:00
集　合　ギダジ研修場
内　容　木工教室

「岩手切り炭」の配布を始めます（会員価格）
ナラ・雑木炭　５００円／５ｋｇ
ス　ギ　炭　　４００円／５ｋｇ
※炭焼き活動参加者は当日無料持ち帰り可能。
購入希望者は090-2274-9201(佐藤勝男）まで。

８～９月の活動から

□　8月5・25日　9月13・14日　薪づくり活動　於ギダジ　参加延44人
集積したスギ間伐材から薪づくりをしました。
事業看板も参加者の手作りで完成。配布薪の持ち帰りもありました。

スギ薪も今年の配布予定量をほぼ作り終えて、利用希望者は各自必要量を持ち帰ることになっています。ギダジ研修場にはまだまだ未利用のスギ丸太が多く残っていますので利用希望者は事務局、又は岩崎(090-4553-6903)まで連絡ください。
薪、板材としての活用希望をお待ちします。

□　9月22日　炭焼き活動　於ギダジ　参加13人
ナラ材を利用した炭焼き活動を開催しました。太い材を割りながらの作業で火入れし、この後一週間で炭焼き完了です。

10月7･8日の東和町「土澤アートクラフトフェア」の「ハヤデン」ブースに当会木炭を出品します、ぜひ訪れてください。

「森のチェーンソー講座」・・・・県民参加の森林づくり事業（森林税事業）

＜ 10月のスケジュール ＞

■　「講座」開講日・・・・

と　き　10 月 13 日(土)，　28 日(日)
9:00 ～15:00

集　合　ギダジ研修場

内　容　スギ林の徐･間伐技術のまとめ

＜ 11月のスケジュール ＞

■　「講座」開講日・・・・

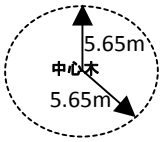
と　き　11 月 10 日(土)，　25 日(日)
9:00 ～15:00

集　合　ギダジ研修場

内　容　雑木林の見方、伐木テクニック
萌芽更新、樹種の判別

☞ テキストの活用を！
これならわかる「山仕事の手引き」

8月の講座では杉の伐木と並行して「杉林の調査」を行いました。(テキストP37～P38)その際、調査区画(ｻﾝﾌﾟﾙ=ﾌﾟﾛｯﾄ)を8m×25mの長方形区画各2ヶ所を設定し調査を実施しました。今回はその時に簡単な話しだけで終わっていた円形区画調査について紹介します。より少人数で取り組める方法なので、山林所有会員で関心のある方は、講座での経験を活かして忘れないうちに取り組んでみてはどうでしょうか。
円形区画調査⇒中心木を決め、それを起点として半径5.65m（≒100㎡）の円形区画を数ヶ所設定して実施します。区画は林内の立木の混み具合の平均的な場所を数ヶ所設定。参考⇒区画設定は「釣竿」を利用すると便利。4m(50㎡)でも可。※立木本数、胸高直径、樹高、形状比、保育密度、1ha換算、適正立木本数、間伐本数、間伐率等々、初心者にとっては聞き慣れない用語が入り乱れますが→全てテキストに網羅されています。講座に参加の時はテキストを持参下さい。雨天時には利用する場合があります。



8月の活動から

□ 8/11(土)･26(日)「講座」･･ 三助山研修林　参加・・・・
8/11 受講者14人 スタッフ16人、8/26 受講者14人　スタッフ14人

各グループで林分調査を実施

山側に立ち胸高直径 測定

さて調査結果は!

測定値を復唱しながら記録

9月の活動から

□ 9/8(土)･23(日)「講座」･･ 三助山研修林　参加・・・・
9/8 受講者16人 スタッフ13人、9/23 受講者8人　スタッフ12人

ロープウインチ

ﾛｰﾌﾟｳｲﾝﾁを弛めるﾀｲﾐﾝｸﾞそして合図

トビロを使って・・・・力を合わせ

「里山整備対策事業」・・・・・・林野庁の交付金事業

※　正式事業名・・・・・森林・山村多面的機能発揮対策事業（18年度 6年目の継続事業）

10月のスケジュール

■「里山の安全講習」・・研修・教育タイプ
　と　き　10月 3日 (水)　9:00～15:00
　ところ　盛岡市川目　市有林
　内　容　雑木林の見方・雑木の伐木テクニック
　集　合　ギダジ研修場

■ 里山・資源利用（臨時日ー5/17雨中止分）
　と　き　10月 10日(水)　9:00～15:00
　ところ　田中林・スギ林
　内　容　ロープウィンチで集材・運材
　集　合　ギダジ研修場

■ 里山・環境保全
　と　き　10月17日（水）～18日（木）9:00～15:00
　ところ　田中林・スギ林
　内　容　17日　林分調査、除間伐、玉切り
　　18日　除間伐、玉切り、木寄せ

11月のスケジュール

■「里山の安全講習」・・研修・教育タイプ
　と　き　11月 7日 (水)　9:00～15:00
　ところ　三助山研修林
　内　容　チェンソーの整備（目立てなど）
　　・伐木のおさらい
　集　合　ギダジ研修場

■ 里山・環境保全
　と　き　11月 21日(水)～22(木)
　　9:00～15:00
　ところ　田中林・スギ林
　内　容　藪払い、除間伐、玉切り、木寄せ

８/９月の活動から

□ 教育・研修・・・「里山の安全講習」8 / 1 (水)　参加13人　9 / 5 (水)　参加12人

刈り払い実習

林分調査で間伐率は？

偏心は？、伐倒方向は？

枝払いは丁寧に

□ 資源利用 ・・・8 /22(水)　参加 7人　8 /23(木)　参加 7人（林内の残材をロープウィンチで作業道脇に集材）

手慣れたロープウィンチで効率よく集材

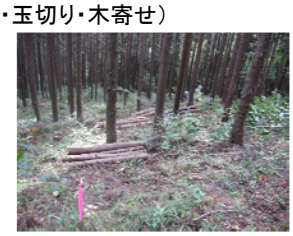
急勾配の下げ荷は慎重に引いて集積

□ 環境・保全・・・9 /19 (水)　参加 11人　9 /20 (木)　参加 8人（林分調査・除間伐・枝払い・玉切り・木寄せ）

林分調査（間伐率43%）

林内探査・伐採ポイント設定

掛り木も発生


間伐整備ー木寄せで見栄えも良

森林の有する多面的機能　林産物生産機能と公益的機能（環境保全機能）

森林に対する住民意識（総務省）

「生産の森」・・木材・特用林産物を生産
「環境の森」・・大気の浄化や水源となる
「憩いの森」・・健康・レクリエーションのため
「野生の森」・・野生動植物のため
「学習の森」・・子供が自然を勉強するため

森林がもたらす外部経済効果（林野庁）

外部経済効果	金額（兆円/年）
土砂流出防止	28.3
水資源かん養	27.1
土砂崩壊防止	8.4
大 気 保 全	5.1
野生鳥獣保護	3.8
保 険 休 養	2.3
合　　計	75

講師派遣事業（安全技術普及活動）

＜ 10, 11月 の スケジュール＞

主 催 団 体 名	月 日	事 業 名	備 考
NPO法人遠野エコネット	10/14（日）	第7期 山仕事入門講座	全 11回
	11/11（日）	〃	
紫波みらい研究所	10/14（日）	山仕事初級講座	全 8回
	11/11(日),25(日)	〃	

＜8/9月の活動から＞

□ 8/19(日) 遠野エコネット‥ 7 年目の「山仕事入門講座」

テーマ ‥‥刈り払い・間伐の実習 派遣‥藤原隆雄・村上御幸・矢神光政の3人

□ 9/ 9 (日)遠野エコネット‥ 7年目の「山仕事入門講座」

テーマ ‥‥間伐・滑車の使い方の実習 派遣‥藤原隆雄・細田一夫・矢神光政の3人

8/19草刈りと違う感覚の藪払い

9/9 午前雨の為目立て講習

9/9 午後 掛り木処理

□ 9/9（日） 紫波みらい研究所‥「山仕事初級講座」

テーマ‥‥腰ナタの扱い方とロープワーク 派遣‥岩井、後藤、岩崎の3人

屋内でナタの取り扱いとロープワーク。
腰ナタの扱いと手入れを実習した後に、ロープワークの基本を研修しました。

全員が丁寧にナタ砥ぎ

いわて森林再生研究会

2018年10・11月号 代表 鎌田 健造

事務局 盛岡市上田堤 1-13-7（斉藤）
TEL・FAX 019-663-0547（携）090-7070-8724

各活動分野の 10、11 月のスケジュール及び 8,9 月の活動詳細は下記のページを見てください。

- ◆「間伐材の資源化」・・・・・・・・・・ ☞ 2 ページ
- ◆「森のチェーンソー講座」・・・・ ☞ 3 ページ
- ◆「里山事業」・・・・・・・・・・・・ ☞ 4 ページ
- ◆「派遣事業」 ・・・・・・・・・・・・ ☞ 5 ページ
- ◆「研究会」 ・・・・・・・・ ☞ 6 ページ
- ◆「やる気のページ」・・・・・・・・ ☞ 7 ページ

ギダジの畑は収獲の秋。今年も会員がさまざまな野菜をつくりました。

Ｙさんが畑に埋め込んでいた菌床から出てきたマイタケ。

種を食べる珍しいカボチャ。Ｍさんが挑戦しているものです。

■ **「そば 祭 」～そば打ち道場あり～**

と き **11月23日（祝日）** 10:00～14:30
ところ **三ツ割公民館**
岩泉街道「県営野球場」近く

会 費 **1,500円** 飲み物代 含みます
その他 ・・・・前掛け、エプロン
「つまみ」各自持参可

※ 誰でも参加できます。事前連絡不要ですが、場所不明などの問合せは・・・・TEL 019-661-9404
（ 藤原）

テキスト改訂プロジェクト

☞ 8/30 寄付目録の贈呈式
「かんぽ生命保険㈱」から昨年度につづき寄付100万円を頂きました。
贈呈式はかんぽ生命保険㈱盛岡支店で行われ鎌田理事長が目録をお受けしました。

目録を受ける鎌田理事長

＜編集作業・・・・＞
原稿づくり・・完全原稿にはまだまだです。
写真、DVD撮影・・・・遅れてます。
それでも何とかなるでしょう。

写真撮影

ページはこんなイメージかナ・・・・

キノコ採りに注意 ！

この秋の山はキノコ、クリ、ブドウが豊作のようです。
でも、熊には用心してください。
9/23 研究会監事の立花辰雄さんが、八幡平にキノコ採りにでかけ、クマに襲われて怪我をしました。クマは猛獣です。くれぐれも・・・・・・

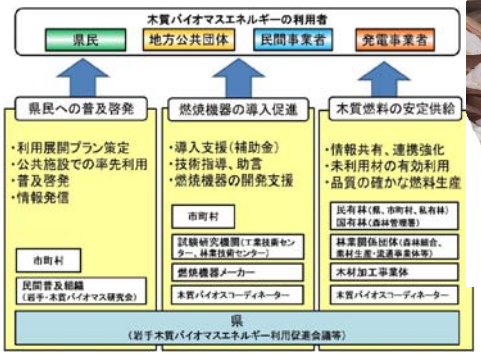
いわて森林再生研究会

＜8,9月の活動から＞
「岩手県木質バイオマス利用地域サポーター認定研修」に参加

9月10、11日の2日間、南幅清也さんと岩崎宏さんの2名がバイオマスサポーターの認定研修を受講しました。

バイオマスサポーターとは？
県やバイオマスコーディネーターと連携して地域のバイオマス利用促進活動に対応する役割です。

森林の材有効活用は、山の荒廃を防ぎ、活動を持続するために必要なこと。今後もさまざまな可能性を検討して活動していきます。



施業プランナーのコーナー

民間林業者の本音仕事

森林組合とは違った林業の伐採を見学した報告です。
（岩）

□　新規林業は成り立つ？
見学したのは山の伐採・出荷を十数年前に始めた「(有)ユニオン住宅」です。

高性能機械を導入して採算を上げるにはどんな工夫があるのでしょうか。

■　伐採は補助金を申請しない
補助金の縛りで費用がかかることを避け、低コスト作業で山主さんへ支払う額を確保しています。また、原木市場への出荷でなく「素材生産組合」に加入して直接出荷。中間経費を最小にするとのこと。

■　グラップルで作業道作り
作業の流れは：チェーンソー伐倒→グラップル押倒し→グラップル道作り→プロセッサー玉伐り＆仕分→グラップル積込→作業車搬出。**バックホウは使いません。**
全部を社長以下4人で行います。道や橋は丸太の補強で他の資材を使わず経費削減していました。

■　出荷に適した樹齢には価値がある
スギは40～60年の元気な樹齢が建材として高く売れる。現場で見た高樹齢の多くは腐れが入っていました。